

「心の輪講座2020」を開催しました

岐阜市は、心に潜む「偏見」や「こだわり」をみつめ直し、差別をなくそうと努力する人権学習ボランティア団体「心の輪の会」と共催で、「心の輪講座2020」をみんなの森 ぎふメディアコスモスにおいて開催しました。コロナ禍での開催にあたり、感染防止対策を徹底し、人数を大幅に制限しました。事前予約制にし、3回の講座にのべ107名の参加がありました。

人権課題を正しく理解し、相手の立場や思いを想像し、思いやりの心をもって接する態度を養いたいものです。市民一人ひとりが積極的に講座や研修会に参加し、自己の人権感覚を高め、人権を尊重するまちづくりが推進されることを願っています。



【第1回 心の輪講座の様子】

~テーマ:心の輪の広がりと深まりを願って~

回	期 日	演題・講師	参加人数
1	11月25日(水) 14時00分～	人権啓発ビデオフォーラム 「サラーマット～あなたの言葉で～」を見て コーディネーター：心の輪の会長 市講師団 中村 正信 さん	37名
2	12月 2日(水) 14時00分～	テーマ：同和問題のこれまでとこれから 講師：スマイルネスト広見東保育園園長 市講師団 吉田 圭三 さん	32名
3	12月 9日(水) 14時00分～	テーマ：風評による偏見 差別について考える 講師：市講師団 毛利 義雄 さん	38名



【第2回 吉田 圭三さんの講演】

- 同和問題のお話を初めて聞きました。今は見えなくても、一部の人の中には差別や偏見が残っているんだと思いました。そのような考えを引き継がないことも大切なんですね。(第2回)
- 普段から人のうわさやデマを信じて、知らないうちに、偏見や差別の目で、人を判断してしまうことがあります。自分の目で、よく見て、知って、判断する力を養うことが大切だと感じました。(第3回)

参加者の声

- 「違いを知る」その後の行動力がどうとれるのかが重要と思われまます。自分を守りたい本能が、どうしても考えの違う人を排除しようとする。それが外国人に対しても同じ行動をとってしまう。考えが違うかどうか分からないのに。いつも、あたたかい心で接していきたいです。(第1回)



【第3回 毛利 義雄さんの講演】